

パワーユニット領域では

高速域の出力をキープしながら低・中速トルク向上とスロットルレスポンスの向上を図りました。
ワークス活動で得た混合気の充填効率を高めるノウハウがフィードバックされています。
また、出力向上にともないトランスミッションの耐久性を向上させ、信頼性を確保しています。

- ・圧縮比を上げるためのピストン形状と燃焼室形状の変更
- ・混合気の充填効率を高めるためにシリンダーヘッドポート形状を変更
- ・デュアル・ステージ・フューエルインジェクション
- ・ミッション強度アップ

などを柱としました。

私たちは、フルモデルチェンジにより生まれ変わったこのCRF250Rが、より多くのライダーへ勝つ喜びと操る楽しさをもたらすものと信じています。

株式会社本田技術研究所 二輪R&Dセンター
CRF250R 開発責任者

YASUHIRO YOKOYAMA

